

## 御開帳にぎわい創出実行委員会設立会議 会議録

日 時 令和8年4月28日（金） 午後2時から午後3時まで  
場 所 長野市役所第一庁舎5階 庁議室（長野市役所 第一庁舎 5階）  
出席者 委員19人  
          オブザーバー1人  
          事務局7人

### 1 開会

### 2 市長挨拶

〈長野市長：荻原健司〉

いよいよ来年4月4日から6月19日までの77日間、善光寺御開帳が開催される。

前回令和4年の御開帳では、官民一体となったにぎわいの創出やおもてなしを通じて、636万人という大変多くのお客様、ご参拝客をお迎えした。

来年の御開帳では、訪れた皆様に心から満足をしていただけるようなおもてなしを行い、「また長野に行きたいな」「もう1回長野行こうよ」といった方を一人でも多く増やしていきたい。また、「なぜ善光寺が1,400年の長きにわたり、多くの人々に愛されてきたのか」という本質的な価値や意義も含めてしっかりと伝えていきたい。さらに、訪問するだけでなく、体験に結びつけていくことも考えている。

この実行委員会は官民一体となって取り組むための組織として立ち上げた。委員の皆様には、それぞれの立場でのご活躍を何卒お願いしたい。また、御開帳のにぎわいを、市内全体へ波及させていきたいと考えており、それぞれの観光協会の皆様、松代・戸隠地区の住民自治協議会の皆様にもご参加をお願いしたところである。

御開帳を一過性のイベントに終わらせることはない。御開帳を契機に、長野市の魅力をさらに高め、「国内外から選ばれ続ける観光都市 ながの」をつくっていききたいと思っている。何卒ご協力をいただきたい。

### 3 出席者紹介

### 4 御開帳にぎわい創出事業の概要及び御開帳にぎわい創出実行委員会(仮称)について

【資料1】

〈事務局説明〉

・質疑なし

## 5 協議事項

### (1) 御開帳にぎわい創出実行委員会規約（案）について 【資料2】

〈事務局説明〉

・質疑なし、規約了承

### (2) 役員の選任について 【資料3】

（規約に基づき、会長（市長）議長就任）

〈長野商工会議所会頭：水野雅義〉（副会長就任あいさつ）

前回の御開帳時はコロナ禍ということで、観光客の動きが中々読めなかった一方で、本当に多くの方が市内の観光地域に行かれたということを知っている。

長野市の素晴らしい観光地をくまなくPRし、インバウンドも含めた観光客の皆さんに、善光寺だけではなく、それぞれの地域にも訪れてもらえるように、様々な意見を出し合いながら、うまく盛り上げていければ良いと思っている。

### (3) 事業計画（案）及び予算（案）について 【資料4】【資料5】

〈長野市長：荻原健司〉

前回の御開帳時のテーマは「日本一の門前町大縁日」であったが、今回のテーマについて改めて共有したい。

〈観光振興課長〉

資料1のスライド4に記載がある、「善光寺御開帳2027 祈りとにぎわいが息づくまち『NAGANO』」である。

〈実行委員〉

長野県立美術館では御開帳の特別記念展覧会を準備している。一から長野県立美術館の学芸員が企画し、各所に貸し出し依頼をしている。

展覧会のメインテーマも「祈り」であることから、ちょうど連携していけるのではないか。

〈長野市長：荻原健司〉

御開帳関連の事業を進めるに当たり、大きなテーマを設定することにした。

今、世界を見渡すと様々な紛争があり、或いはコロナなどもある中、人々が善光寺へ訪れる理由を考えたときに、やはり多くの皆様が世界平和への祈り、自身の健康への祈り、家族の平安、商売繁盛、いろんな意味で祈りの気持ちを持って来られるのだろうということで、勝手ながら「祈り」をテーマにさせていただきました。

これらのバックグラウンドなども共有させていただきながら、御開帳に向かっていきたいと思う。

県立美術館の展覧会のコンセプトと合致していることは大変うれしく思う。

〈実行委員〉

ビッグサインについて、100日前イベントの時に設置して除幕をするという話もあったが、SNS等でバズった場合、どのぐらい持つのかということもあるが、御開帳が終わった後に撤去してしまうのか。それとも保存するのか。

〈観光文化部長：石坂真〉

恒久的に設置できれば一番良いと思いつつ、まだ関係各所との調整が図れていない。

「御開帳を契機に」とずっと言っていることから、御開帳後に長野に来たときに楽しめることが一番良いと思っている。

〈実行委員〉

善光寺が1,400年もの間、本当に親しまれ、愛されている本質的な意義はどのようなところにあるのか。

〈オブザーバー〉

善光寺は三国伝来の仏像を祀っており、善光寺信仰は古くはインドで生まれ、朝鮮半島を渡り、7世紀に入ってきた。私は天台宗であるが、そういった宗派が生まれる前に、日本の最初の原始仏教として入ってきた信仰である。

また、一つの特色として、大きな藤原家や平家などの菩提寺ではなく、いわゆる庶民の寺として、古くから信仰を集めてきた。

もう一つの特色は、女人信仰である。今では有り得ないが、昔は「女性は男性に生まれ変わらないと往生できない」というお経もあった。その中で、古くから女性のお参り・極楽往生を解いてきた。

日本中に色々な寺があるが、古いことと信仰が開かれていることが大きな特色であり、古くから信仰を集めてきたところである。

〈実行委員〉

戸隠神社式年大祭が令和9年4月25日から5月25日まで行われる。こちらも引き続き、善光寺と戸隠神社で協力させていただきたいと思っている。

また、長野県の宿泊統計を見ると、令和7年度の速報値で、アジアのみならず欧米各国のインバウンドについて、47都道府県のうち、10位以内に長野県が入ってきている。

長野県全体の数値のため一概には言えないかもしれないが、善光寺周辺、戸隠、松代等への宿泊も含めて、御開帳にぎわい創出実行委員会の事業は広域的な周遊を促す目的であると思うが、こういった数字をもとに、しっかり検討していかないといけないと思う。

〈実行委員〉

コンベンションビューローとしては今回初めて、海外に対するキャンペーンを実施する。台湾とタイの二か国に対して、善光寺と一緒にアピールしていく計画になっ

ている。

その理由は、いずれの国も善光寺と今まで様々な縁があったということである。最初の海外プロモーションはそのような国からスタートするのが良いということで、現在タイの大使館の方とも話をさせてもらっている。また台湾には、ビューローの現地観光代理店があるため、そこと連携しながら計画を進めている。

いずれにしても、4月を中心に来ていただくように段取りをしている。5月に入り中日庭儀大法要が終わると、毎回、日本のお客様が大量にきて宿が取れない状況になる一方で、4月が非常に空いている。4月を何とかインバウンドで埋めるため、雪・桜・御開帳の3点セットで売り込んでいこうと計画を進めている。

今まで2回、「日本一の門前町大縁日」という形の中で、御開帳に絡めて表参道でにぎわいを演出してきたが、その形は変わっても、コンセプトや物の考え方は変えないでこれからも続けていくことが非常に重要だと思う。逆に、同じことを毎回繰り返していけば良いという話ではなく、今回変化をつけてもらっているが、それはそれで非常に大事なことだと思う。大変期待している。

・事業計画（案）、予算（案）了承

## 6 その他

〈オブザーバーあいさつ〉

善光寺御開帳奉賛会の会長から請願を受け、令和9年4月4日から6月19日まで、御開帳を開催する。善光寺の歴史において最長の77日間という期間である。

コロナのときは3密を避けるため、本堂の中に入らせていただく方を規制したために苦肉の策として88日間の日程を組んだわけであるが、今回はそういった規制なしに77日間の日程である。御開帳に向けて私どもも着々と準備をしているところである。

また、先ほどからインバウンドという言葉が出ているが、私どもも境内の中のお休みどころや茶屋をインバウンドの方にも宗派を超えて楽しんでいただけるような取り組みも進めているところである。

また先ほど、県立美術館の笠原館長から「祈り」という言葉が出たが、世界平和や祈りの場としての寺の役割をこの御開帳を通じて発信していきたい。正式な日程は申し上げられないが、「世界平和祈願法要」を大々的に組みたいと思っている。先ほどながの観光コンベンションビューローの樋口理事長から話があったタイや台湾も見据え、海外の方にぜひ参加していただき、世界にしっかりと平和を発信できる法要を考えたい。

また、地域の活性化においても、なるべくたくさん色々な場所から来ていただけるよう、連携をしっかりと図っていききたいと思っている。先ほどお朝事や夜のライトア

ップという話も出たが、できる限りのことを協力したいと思っている。ぜひ色々なことを言っていたきたい。

善光寺の御本尊は654年に秘仏化された。実際「善光寺の御本尊様は7年経てば見られるんですよね」という質問を多々受けるが、御本尊自体は絶対秘仏である。私たち僧侶もこれまで1,400年以上見たことはない。

その中で鎌倉時代に、「厨子の中にしまわれた秘仏をやっぱり見たい。拝んで見たい」という皆様方の願いから、もう一体、仏像が刻まれた。その仏像が、未の年と丑の年に開帳されるが、秘仏の仏様の前に立つ「前立本尊」である。

ぜひ、善光寺の歴史が始まって以来最長の77日間の御開帳で、一人でも多くの方にこの前立本尊様と仏縁を結んでいただきたい。また再三皆さんがおっしゃられている「世界平和の祈りの場」として、善光寺が一役一助となればよい。

私ども僧侶としては、一生懸命お経を読むことが務めであることから、たくさんこの期間中にお経を読ませていただければと思っている。

御開帳まであと345日であるが、備えあれば憂いなしである。しっかりと種をまき、実りある御開帳にしたいと思う。ぜひよろしく願いいたしたい。

## 7 閉 会